



コミュニケーション齟齬を軽減することで心理的安全性を高めます

概要

多様な特性を持つ人々が共に働きやすくなる世界をめざして、個人のコミュニケーション特性の把握や、コミュニケーション特性に合わせた言語情報・非言語情報の変換を行い、齟齬の低減による心理的安全性の向上をはかります。

(1) コミュニケーション特性の把握 Understanding of individual communication characteristics

センシング&モデリング技術 Sensing and Modeling Technology ※事前準備 Preparations in advance



(2) コミュニケーション特性に合わせた情報変換 Information transformation suitable for each individual

変換技術 Information Transformation Technology

センシング → モデルで内面を推定 → 齟齬を軽減
Sensing → Estimating actual status by using model → Reducing communication discrepancy



出展社

日本電信電話株式会社

特徴

- 個人のコミュニケーション特性のモデル化
- 個人のコミュニケーション特性に合わせた言語情報・非言語情報の変換

利用シーン

- プロジェクト型組織におけるディスカッション
- 多様な特性を持つ人々との職場における対話

今後の展開

- 個人のコミュニケーション特性を把握するためのセンシング・モデリング技術、および、個人のコミュニケーション特性に合わせた情報変換技術の確立に取り組んでいきます。

問い合わせ先：
rdforum-sv-ml@hco.ntt.co.jp